

**This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

**Defective images within this document are accurate representation of  
The original documents submitted by the applicant.**

**Defects in the images may include (but are not limited to):**

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORS PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

PARTIAL TRANSLATION EXTRACT OF JAPANESE UNEXAMINED UTILITY  
MODEL PUBLICATION (KOKAI) NO. 61-161226

Title of the Invention Device: Box having Double Doors

Publication Date: 61-161226

Utility Model Application No.: 60-44845

Filing Date: March 29, 1985

Applicant: Omichi Namio

As shown in Figs. 1 - 4, a box comprising a base plate 1, side plates 4, 21 and 22 connected to the base plate 1, opening and closing plate 31 and 32 connected to the side plates 21, 22. Adhesive members 5 are connected to the side plates 21, 22, and closing member 61 and 62 are connected to the opening and closing plate 31. When assemble the box, side plates 4 are folded, then side plates 21 and 22 are folded, and the adhesive members 5 are welded or adhered to the outer surface of the side plates 4. Then, the closing members 61 and 62 and the opening and closing plates 31 and 32 are folded so that the closing member 61, 62 are inserted in internal surfaces of side plate 4.

Reference Numerals

4, 21, 22	side plate
31, 32	opening and closing plate
5	adhesive member
61, 62	closing member

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-161226

⑬ Int.Cl.

B 65 D 5/66  
5/28

識別記号

庁内整理番号

A-6540-3E  
B-6540-3E

⑭ 公開 昭和61年(1986)10月6日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 両開き開閉函

⑯ 実 願 昭60-44845

⑰ 出 願 昭60(1985)3月29日

⑱ 考 案 者 大 道 七 海 男 東京都文京区本郷5-29番12-707

⑲ 出 願 人 大 道 七 海 男 東京都文京区本郷5-29番12-707

⑳ 代 理 人 弁 理 士 佐 々 木 功

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

底板と、その底板の周辺に起立した側板とを備え、その側板は隣接側板間が貼着片にて連結されるとともに一方の相対する側板の各上端に開閉板が設けられている両開き開閉函において、前記各開閉板が両側の遊端に他方の相対する側板の内面に当接する閉止片を備えるとともにいずれか一方の開閉板に連設された閉止片の下端隅角部近傍に該近傍の弧状に切欠いてなる弧状縁部を備えたことを特徴としてなる両開き開閉函。

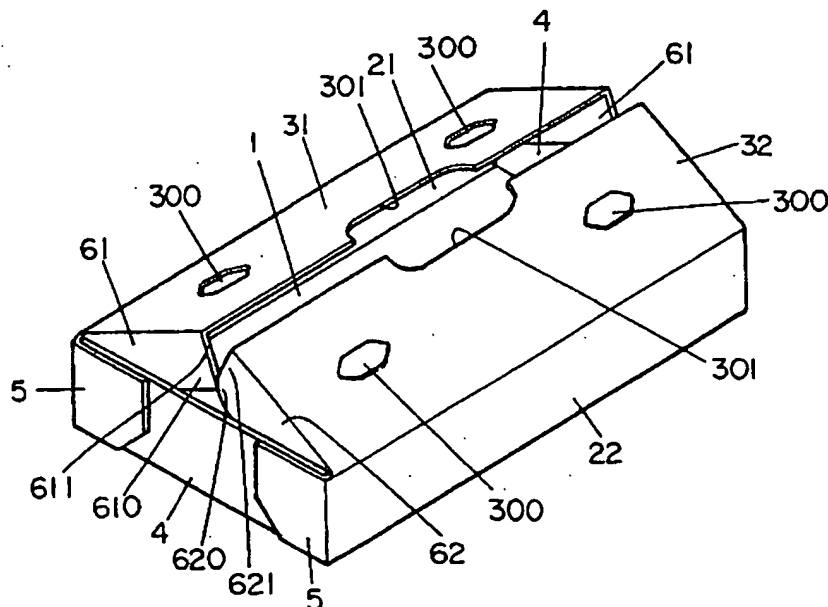
## 図面の簡単な説明

第1図乃至第4図は本考案の一実施例を示し、

第1図は展開図、第2図は組立途中の状態を示す斜視図、第3図は組立完了後の斜視図、第4図イ、ロ、ハ、ニは閉止片の動作状態を説明する正面図、第5図及び第6図はそれぞれ従来の両開き開閉函の展開図である。

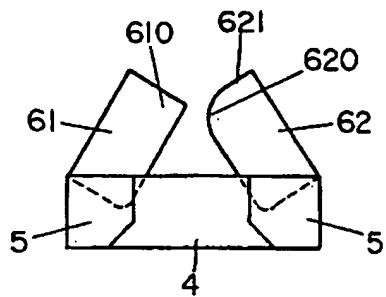
1……底板、21……左側板、22……右側板、31……左開閉板、32……右開閉板、300……通気孔、301……切欠き、4……側板、5……貼着片、61、62……閉止片、610、621……側部、620……弧状縁部。

第2図

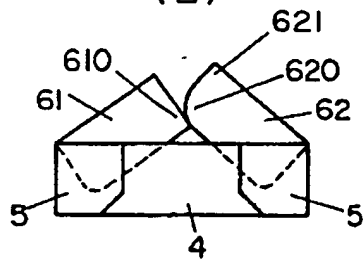


第 4 図

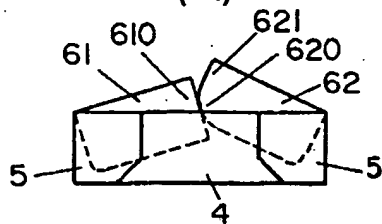
(イ)



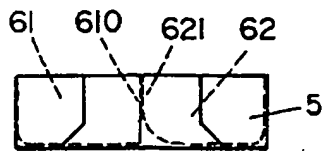
(ロ)



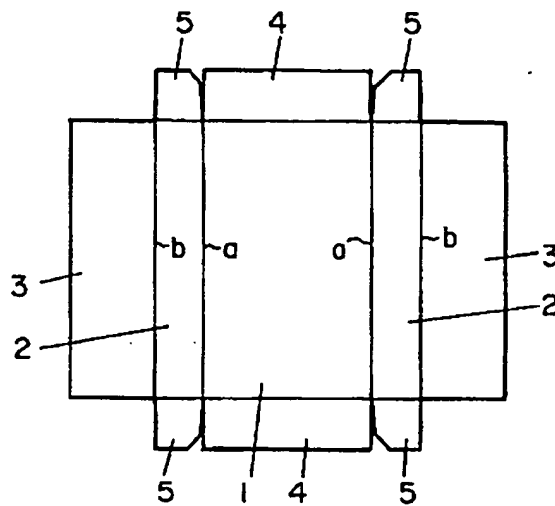
(ハ)



(ニ)



第 6 図



⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61- 161226

⑪ Int. Cl. 1

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和61年(1986)10月6日

B 65 D 5/66  
5/28

A-6540-3E  
B-6540-3E

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 両開き開閉函

⑮ 実 願 昭60-44845

⑯ 出 願 昭60(1985)3月29日

⑰ 考 案 者 大 道 七 海 男 東京都文京区本郷5-29番12-707  
⑱ 出 願 人 大 道 七 海 男 東京都文京区本郷5-29番12-707  
⑲ 代 理 人 弁理士 佐々木 功



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

両開き開閉函

### 2. 実用新案登録請求の範囲

底板と、その底板の周辺に起立した側板とを備え、その側板は隣接側板間が貼着片にて連結されるとともに一方の相対する側板の各上端に開閉板が設けられている両開き開閉函において、前記各開閉板が両側の遊端に他方の相対する側板の内面に当接する閉止片を備えるとともにいずれか一方の開閉板に連設された閉止片の下端隅角部近傍に該近傍を弧状に切欠いてなる弧状縁部を備えたことを特徴としてなる両開き開閉函。

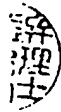
### 3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は両開き開閉函に関する。

(従来技術)

従来、例えば函体の頂面が左右に観音開き状に開閉する両開き開閉函としては、第5図及び第6図の展開図に示すようなものが使用されている。



即ち、第5図に示すものは底板1の左右両側にそれぞれ2条の折線a, bを介して側板2, 開閉板3を備えるとともに底板1の前後両端にはそれぞれ折線を介して側板4を備え、各側板2, 開閉板3の前後両端にそれぞれ折線d, eを介して貼着片5, 開閉側板6を備えたもので、折線b, d, eに沿って開閉板3, 貼着片5, 開閉側板6を直角に折り曲げて貼着片5を開閉側板6に貼着して冠せ蓋部を形成した後、折線cに沿って側板4を起立させ、次いで折線aに沿って側板2を折り起しつつ前記冠せ蓋部を側板4の外側に被せるものである。又、第6図に示すものは、第5図に示すものから開閉側板6を除去したものであって、折線a, c, dに沿って側板2, 側板4, 貼着片5を直角に折り曲げて貼着片5を側板4に貼着して函体の身部を形成した後、折線bに沿って開閉板3を直角に折り曲げて頂面を閉鎖するものである。

(考案が解決しようとする問題点)

しかし、従来のかかる両開き開閉函には次のような問題点があった。すなわち、第5図に示すも

のは、函体の身部の重要な部分である側板4が唯、単に折線cにより折り曲げ起立されているだけであるから、物品を収納し難く、又、物品収納後も冠せ蓋部が運搬途中等で外れたりすると、収納物品が側板4を押し倒して脱落してしまう等の問題があった。又、第6図に示すものは左右の開閉板3, 3が折線b, bにより折り曲げられているだけであるから、折り戻されて頂面が開口してしまうことが多く、それを防ぐために左右の開閉板3, 3間をテープ貼り等しなければならず開閉作業に手間がかかるという問題があった。又、開閉板3, 3の前後両端と側板4, 4との間にも隙間が生じ、塵埃等の侵入を防止するためには開閉板3, 3と側板4, 4間をもテープ貼り等する必要があり、更に、開閉板3が一片の板紙であるために非常に脆弱である等の問題があった。

(問題点を解決するための手段)

そのため、本考案は、底板と、その底板の周辺に起立した側板とを備え、その側板は隣接側板間が貼着片にて連結されるとともに一方の相対する





側板の各上端に開閉板が設けられている両開き開閉函において、前記各開閉板が両側の遊端に他方の相対する側板の内面に当接する閉止片を備えるとともにいずれか一方の開閉板に連設された閉止片の下端隅角部近傍に該近傍を弧状に切欠いてなる弧状縁部を備えて両開き開閉函を構成し、上記問題点を解決した。

(作用)

本考案は上述のように構成され、いずれか一方の開閉板に連設された閉止片の下端隅角部近傍に弧状縁部を設けたことにより、閉止片の端面同志の衝突を生ずることなしに円滑に閉止片を函体内に差し込むことができるとともに差し込まれた閉止片が濫りに浮き上がるのが完全に防止される。

(実施例)

図により本考案の一実施例を説明すると、第1図は本考案に係る両開き開閉函の展開図であり、1は底板を表す、この底板1の左側には2条の折線a, bを介して左側板21、左開閉板31が連設され、右側には2条の折線a, bを介して右側



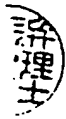
板 2 2 , 右開閉板 3 2 が連設されている。左開閉板 3 1 及び右開閉板 3 2 の左右幅は底板 1 の左右幅の略二分の一の大きさである。又、底板 1 の前後端にはそれぞれ折線 c を介して側板 4 が連結されており、左側板 2 1 及び右側板 2 2 の各前後端にはそれぞれ折線 d を介して貼着片 5 が連設されている。又、左開閉板 3 1 及び右開閉板 3 2 の各前後端にはそれぞれ折線 e を介して閉止片 6 1 , 6 2 が連設されている。各閉止片 6 1 , 6 2 は側板 4 と略等しい上下幅を有しており、閉止片 6 1 は略矩形状で側縁に直線状の側部 6 1 0 を有している。又、閉止片 6 2 は外方隅角部近傍が弧状に切欠かれて弧状縁部 6 2 0 となり、その弧状縁部 6 2 0 に続く側縁に直線状の側部 6 2 1 を有している。又、左開閉板 3 1 及び右開閉板 3 2 には、それぞれ 2 個の通気孔 3 0 0 が設けられるとともにそれぞれの遊端縁の略中央に切欠き 3 0 1 が設けられている。

組立に当っては、折線 c , c に沿って側板 4 , 4 を底板 1 の前後端に折り起した後、左側板 2 1



及び右側板 2 2 をそれぞれ折線 a , a に沿って底板 1 の左右端に折り起し、次いで、折線 d に沿って各貼着片 5 を側板 4 , 4 に折り重ね貼着する。次に、各折線 e に沿って閉止片 6 1 , 6 2 をそれぞれ直角に折り曲げた後、等 2 図に示すように折線 b , b に沿って左開閉板 3 1 及び右開閉板 3 2 を直角に折り曲げて、第 3 図に示すように組立を終る。左開閉板 3 1 及び右開閉板 3 2 の折り曲げに当っては閉止片 6 1 , 6 2 を側板 4 , 4 の内面に当接させつつ折り曲げるが、第 4 図（イ）、（ロ）、（ハ）、（ニ）に示すように、閉止片 6 2 を閉止片 6 1 より稍遅く函体内に入り込ませ、第 2 図及び第 4 図（ロ）、（ハ）に示すように弧状縁部 6 2 0 の端面を側部 6 1 0 の端面 6 1 1 に当接させつつ折り曲げる。

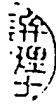
本考案は上述の実施例に限定されるものではなく、いずれか一方の側板 4 を函体の底面として函体の前面が観音開き状に開閉するようにしてもよい。又、通気孔 3 0 0 、切欠き 3 0 1 の形状、大きさ等は任意に定めてよく、通気孔 3 0 0 は設け



なくともよい。

( 考案の 効果 )

本考案は上述のように構成され、底板と、その底板の周辺に起立した側板とを備え、隣接側板間が貼着片にて連結されて強固な身部が構成され、かつ一方の相対する側板の各上端に開閉板が設けられている両開き開閉函において、開閉板の両側の遊端に他方の相対する側板の内面に当接する閉止片を設けたことにより、開閉板が頑丈となり、いずれか一方の開閉板に連設された閉止片の下端隅角部近傍に弧状縁部を設けたことにより、弧状縁部を設けた閉止片を弧状縁部を設けない閉止片より稍遅れて函体内に差し込んで弧状縁部の端面を弧状縁部を設けない閉止片の側部端面に当接させつつ閉止片を函体内に差し込み、左右の開閉板により函体の頂面を円滑に閉鎖することができる。又、弧状縁部を一方の開閉板に連設された閉止片の下端隅角部近傍に設けて弧状縁部の上方に直線状の側部を設け、その側部端面と弧状縁部を設けない閉止片の側部端面とが函体の頂面閉鎖時に互



いに衝突し合うようにしことにより、函体閉鎖時に左右の開閉板が濫りに浮き上がることは完全に防止される。又、左右の開閉板の各遊端縁に切欠きを設けことにより、その切欠きに手を掛けて左右の開閉板を観音開き状に開くことができ、更に、開閉板に通気孔を設けることにより、函体内に魚等を収納し冷凍庫内で冷凍する際の冷凍効率を高めたり、函体内に野菜等を収納した際の通気性を良好にして鮮度を保つことを可能ならしめる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第4図は本考案の一実施例を示し、第1図は展開図、第2図は組立途中の状態を示す斜視図、第3図は組立完了後の斜視図、第4図（イ）、（ロ）、（ハ）、（ニ）は閉止片の動作状態を説明する正面図、第5図及び第6図はそれぞれ従来のも開き開閉函の展開図である。

1 …… 底板、2 1 …… 左側板、2 2 …… 右側板、3 1 …… 左開閉板、3 2 …… 右開閉板、3 0 0 …… 通気孔、3 0 1 …… 切欠き、4 …… 側板、5 …… 貼着片、6 1、6 2 …… 閉止片、6 1 0、6 2



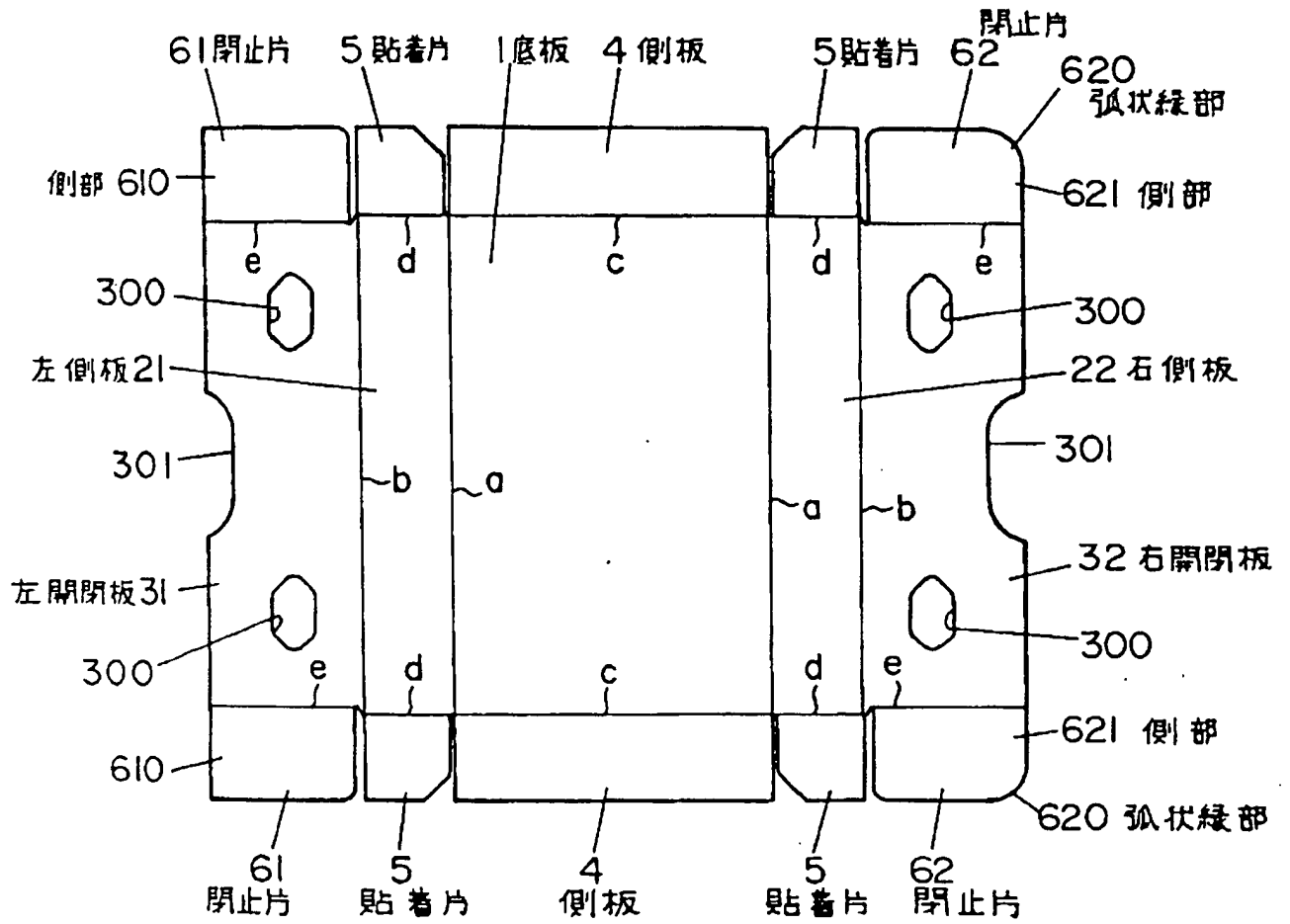
1 …… 側部、6 2 0 …… 弧状縁部。

實用新案登録出願人      大   道   七   海   男

代   理   人   弁 理 士      佐   々   木      功



第 1 図



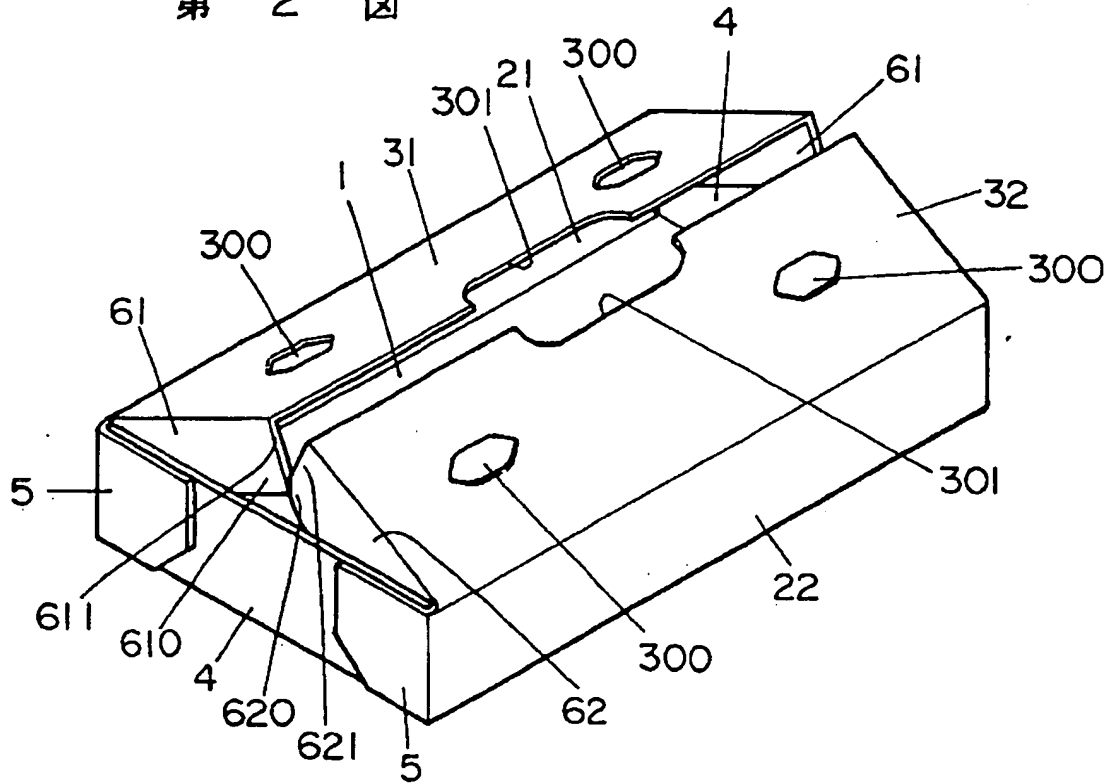
実用新案登録出願人 大道 七海男

代理人 弁理士 佐々木 功

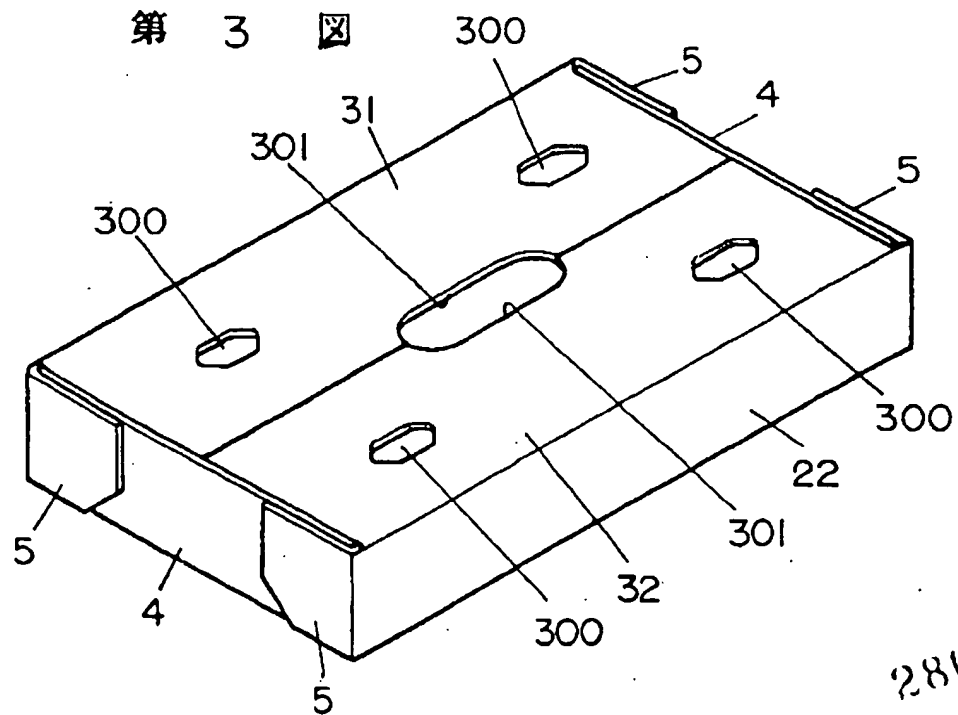
279

161226

第 2 図



第 3 図



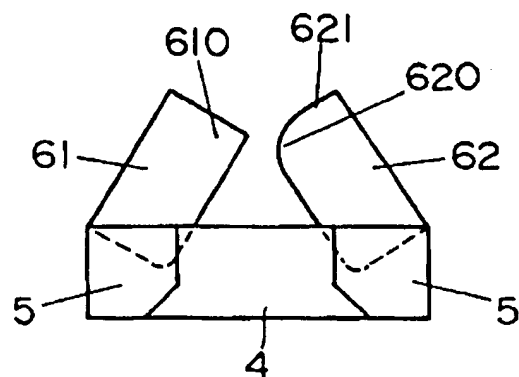
280

実用新案登録出願人 大 道 七 海 男  
代理人 弁 理 士 佐 々 木 功

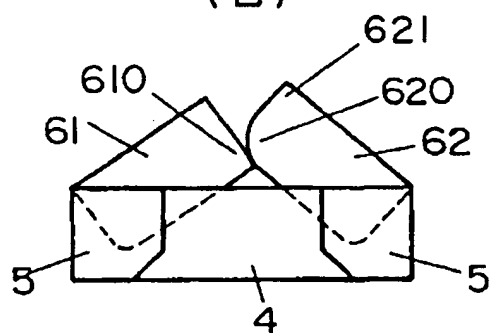
実開G1-161226



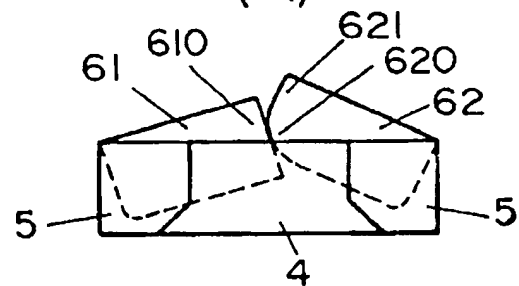
第 4 図 (イ)



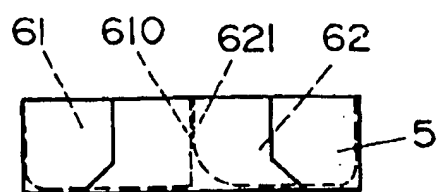
(ロ)



(ハ)



(二)

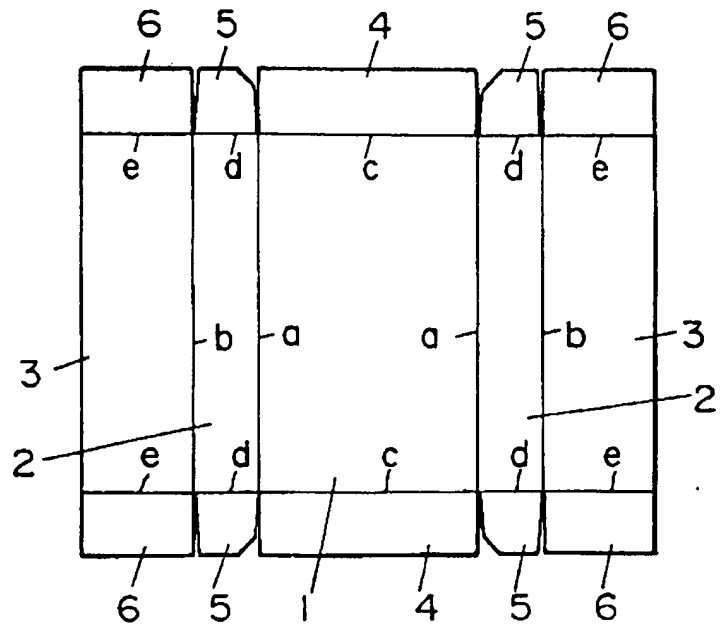


281

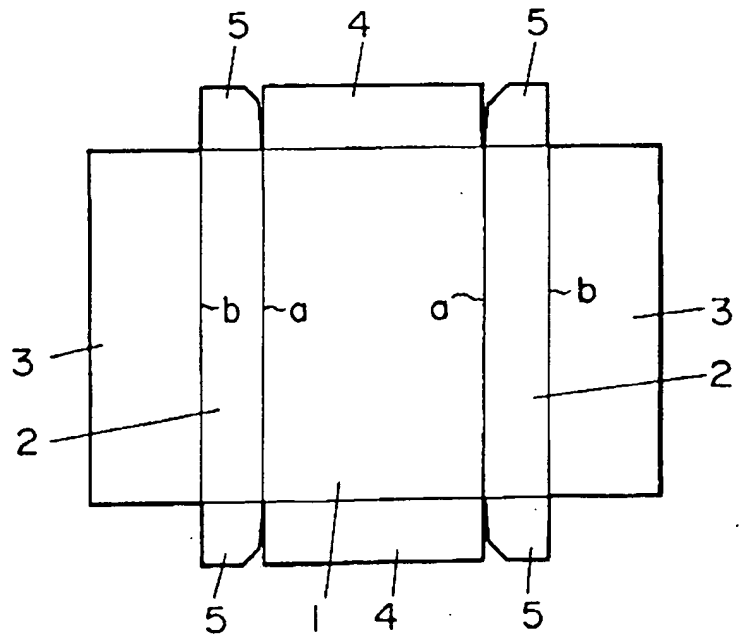
実用新案登録出願人 大 道 七 海 男  
代理人 弁 理 士 佐 々 木 功

実開61-161

第 5 図



第 6 図



282

實用新案登録出願人 大 道 七 海 男

代 理 人 弁 理 士 佐 々 木 功

実開51